

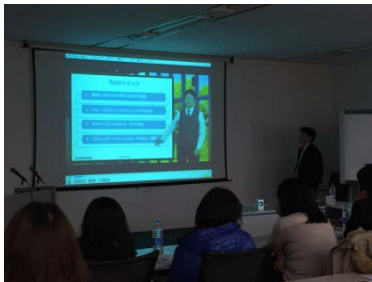
企業研修の反転授業化セミナー

企業内研修の効果をどのように更に上げるか。受講者の参与度とモチベーションを如何に向
上させるか。大勢の人を研修させたい場合のコストをどのように削減できるか。知識をどのよう
に受講者の頭の中により定着させるか。

上記のような悩みを解決することのできる企業内教育の
新しい方法論としての「反転授業」について、サイコム・ブレ
インズ上海では 2015 年 1 月 20 日に陸家嘴環路 1000 号恒
生銀行大廈 17 階で「企業研修の反転授業化セミナー」を開
催しました。合計 27 社、34 名様が参加されました。講師は
サイコムラーニングメディア社長の川口氏です。



今回のセミナーで川口講師は「反転授業」の定義から説
明しました。反転授業では、まず受講者が自分でモバイル端末を使い知識を学んでから集合研
修に参加し、問題意識を持ちながらほかの受講者とディスカッションし、先生からの指導を受け
る、といった学習形式について紹介しました。従来の授業形式と比べるとプロセスが逆になり、
英語の「Flipped Learning」という名前を日本語の「反転授業」と訳しており、学習の主導権を講
師側から生徒側に移すことを川口講師は強調しました。次に、「反転授業」の前半、Online
Program 部分について、エビングハウスの忘却曲線を通じて Online での「Micro Learning」により記憶を定着する原理を説明をし、Online 学習の利便性(いつでも、どこでも)と効率性を強調しました。また、これは知識の予習ではなく、本番学習の全体構成の一部であり、この学習をしていないと、その後の Classroom セッションではほかの学習者とうまく討議できないことも強調しました。また学習のモチベーションを維持する教材の「質」を確保する必要性も、レクチャーの映像デモを見せながら説明しました。そして、「反転授業」の後半、Classroom セッションについて、参加者がクラス前の学習行動という共通体験・共通言語を持っているため、ディスカッションを活性化させ、頭を使う時間が増える、といった特徴を通じて、研修効果の倍増を強調しました。最後に、川口講師は企業研修の反転授業化のメリットとデメリット、コスト、及び運営環境について説明しました。



参加者の皆さんはさまざまな関心を持ちながらレクチャーを聞いていただき、最後の質疑応答セッションで川口講師と下記のような内容(一部)について交流しました。

参加者：あくまで理論知識の勉強で、どこまで覚えたかチェックするしくみはあるか？

川口：考え方は2つ。内容による。知識チェックの必要のあるものはしたほうがよい。しなくてよいものもある。問題解決能力は知識を覚えるものではない。事前講義の中で演習をやる。課題に対してどのように考えるか？先生が回答するビデオをみせる。考えてもらうことが大事。知識をチェックするものはテストをする。



参加者：オンラインの内容で疑問が出てきた場合はどうするか？時間が2倍かかる気がする。

川口：メモしておいて集合研修でです。メリットはある。質問したい内容について深く考える。研修で質問するときもう一度学習した内容を思い出さないといけない。反復する。忘却脚線。より中身がクリアになる。答えはちゃんと準備されていると事前にならわかっていれば疑問がずっと残るとは思わない。

参加者：問題の解答がわからないままでは、途中で映像をみることをやめる人がいることを懸念する。研修の場でわかったことを後で忘れるかもしれない。

川口：研修を個人の視点でみるか、クラスの視点でみるか？クラスの視点でみると全体の理解度、満足度を上げる点では反転のほうが上だ。個人に着目したときには個人差をどれだけ縮められるか、プログラムの完全性はないかもしれない。研修の手法がかわったことによってあらたな効果が期待できることもある。

参加者：通常の研修より安くなるか？

川口：コストは多少あがるかもしれないが効果は高くなる。2日分の研修の効果が1日分で出ることもある。トータルコストをどれだけ安くするかはチャレンジである。

中国では「反転授業」はまだまだ新しい教育形式ですが、今回のセミナーについて皆さんからたくさんポジティブなフィードバックをいただきました。下記は参加者からの声(一部)です。

- Demoを見せてくれて理解しやすかった。また、新しい研修の技術を紹介してくれてありがとうございました。
- 携帯での活用は非常によいと思います。
- 新しい授業スタイルは面白かったと思います。
- Online Learning は今後の潮流だと思います。
- 反転授業の学習効果について理解できたので、自社でも活用を検討したいと思います。
- 学習の利便性と実用性が高い。

反転学習の形式を使い、企業研修の効果を倍増することにご関心がありましたら、いつでも弊社にお気軽にお問い合わせください！

担当：沈(Shen)、林(Hayashi)

TEL: 021-6841-3005/3001 FAX: 021-6841-3028

E-mail: cbs@cicombrains.com

<http://www.cicombrains.com/shanghai/index.html>